



令和6年10月25日配信

報道関係者 各位

食とことばの多様性について、方言の研究者・料理研究家・食文化研究者と考える

## 味の素食の文化センター・人間文化研究機構

### 共催シンポジウム 開催のご案内

大学共同利用機関 人間文化研究機構（東京都港区）は、公益財団法人 味の素食の文化センター（東京都港区）との共催シンポジウム「方言で味わう郷土食の多様性—変化と継承が紡ぐストーリーをたずねて」を開催します。（参加無料・要事前申込）

当機構の国立国語研究所（東京都立川市）**大西 拓一郎 教授**（方言学・言語地理学）、同志社女子大学の**中井 精一 教授**（社会言語学・方言研究）、群馬県立女子大学 **新井 小枝子 教授**（方言学・日本語学）が講演を行い、料理研究家の**土井 善晴 氏**、梅花女子大学の**東四柳 祥子 教授**（比較食文化論）を交えて、食とことばの多様性、食とことばの変化と継承に迫ります。



国立国語研究所  
教授  
大西 拓一郎



同志社女子大学  
教授  
中井 精一



群馬県立女子大学  
教授  
新井 小枝子



料理研究家、「おいしい  
いもの研究所」代表  
土井 善晴



梅花女子大学  
教授  
東四柳 祥子

#### 【開催概要】

タイトル：方言で味わう郷土食の多様性

—変化と継承が紡ぐストーリーをたずねて

開催日時：令和6(2024)年12月13日(金) 14:00~16:30

会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川 HEART（東京都港区  
港南1-8-23 ShinagawaHEART 8階）およびオンライン  
(要事前申込)

定員：会場150名/オンライン500名(手話通訳有り)

申込方法：下記 Web フォームにて受付

<https://ws.formzu.net/fgen/S213604328/>

受付期間：令和6(2024)年11月13日(水)10:00

~令和6(2024)年12月12日(木)17:00

(定員になり次第終了します。)



方言で味わう郷土食の多様性  
—変化と継承が紡ぐストーリーをたずねて

2024 12/13 14:00 ▶ 16:30

会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川 HEART  
定員：会場150名 / オンライン500名  
申込期間：2024年11月13日(水)10:00~  
(定員になり次第、終了します)  
URL: <https://ws.formzu.net/fgen/S213604328/>  
(※手話通訳あり)

プログラム

- 1 地域で見る食の方言の多様性  
—餅屋、調理法、味覚のことばの分布  
大西 拓一郎
- 2 料理への名づけと継承のありよう  
—郷土料理(しもつがれ)に注目して  
新井 小枝子
- 3 料理の定型化とことば  
—日本各地の雑炊に注目して  
中井 精一

講師者パネリスト

司会者：大西 拓一郎  
コーディネーター：新井 小枝子  
モデレーター：土井 善晴、東四柳 祥子

講演者：大西 拓一郎、中井 精一、新井 小枝子、土井 善晴、東四柳 祥子

## Press Release

### ● 本シンポジウム開催の経緯・趣旨

人間文化研究機構では、平成 30（2018）年から、味の素食の文化センターと連携したシンポジウムを企画・開催し、食の文化に関する研究成果を発信してきました。

当機構の国立国語研究所（国語研）<https://www.ninjal.ac.jp/> は、日本語・日本のことばの科学的研究機関として、ことばについて学術的に追求するとともに、豊かな言語生活・文化のために研究成果を発信しています。シンポジウムでは、まず、方言の研究者である国語研の**大西拓一郎教授**が「**地図で見る食の方言の多様性**」と題して、食を表す方言の概要、特定地域に限られた食のことば、そして、食とことばのバリエーションについてお話しします。続いて群馬県立女子大学の**新井小枝子教授**が栃木の郷土料理〈しもつかれ〉に注目して「**料理への名付けと継承のありよう**」について、同志社女子大学の**中井精一教授**が日本各地の雑煮に注目して「**料理の定型化とことば**」について、具体的な事例を紹介しながら講演を行います。これらの講演を踏まえて、料理研究家として幅広く活躍されている**土井善晴氏**、食文化の研究者である**東四柳祥子教授**とともにトークセッションを行います。

「ことば」と「食」という非常に身近な題材で研究者・料理研究家とともに議論することで、**地域の食に関する方言の多様性や、歴史・料理とともに多様化してきたことばの変遷を知り、地域の豊かな食の魅力の再発見と継承への気づき**に繋がる、研究と社会との接点となれば幸いです。オンラインでも参加可能ですので、日本全国の皆様のお申込みをお待ちしています。

なお、当日の様子は後日、収録動画を一部編集の上、当機構および味の素食の文化センターの YouTube にて配信予定です。

### ● 主催者紹介

 <p>公益財団法人 味の素食の文化センター</p>	 <p>大学共同利用機関法人 人間文化研究機構</p>
<p>公益財団法人 味の素食の文化センターは、食文化という言葉がまだ一般的でなかった 1979 年に開催された「食の文化」に関するシンポジウムを発端に活動を開始しました。1989 年に食文化に関する研究支援と普及・啓発を目的とした財団として設立され、その後 2013 年に公益財団法人に移行しました。具体的な活動として、食に関するテーマを学際的に議論する「食の文化フォーラム」やその成果を一般向けに発信する「食の文化シンポジウム」の開催、食文化誌『vesta』（季刊）の発行、食の専門図書館「食の文化ライブラリー」や「食文化展示室」の運営などを行っています。</p> <p>ウェブサイト：<a href="https://www.syokubunka.or.jp/">https://www.syokubunka.or.jp/</a></p>	<p>大学共同利用機関法人 人間文化研究機構(略称：人文機構)は、4 つの大学共同利用機関法人のうちの 1 つであり、人間文化研究にかかわる 6 つの大学共同利用機関（国立歴史民俗博物館・国文学研究資料館・国立国語研究所・国際日本文化研究センター・総合地球環境学研究所・国立民族学博物館）で構成されています。人文機構は、機構内の機関や機構外の大学等をつなぎ、人間文化研究に関する唯一の大学共同利用機関法人として、人間文化に関わる総合的学術研究・発信に取り組んでいます。</p> <p>ウェブサイト：<a href="https://www.nihu.jp/">https://www.nihu.jp/</a></p>

取材のお申込み・お問い合わせは、下記までご連絡ください。

本件に関する問い合わせ先	
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構	TEL 03-6402-9234, 9343
本部事務局研究企画課 広報・社会連携係	FAX 03-6402-9240
担当：木村・松浦	E-mail koho@nihu.jp